

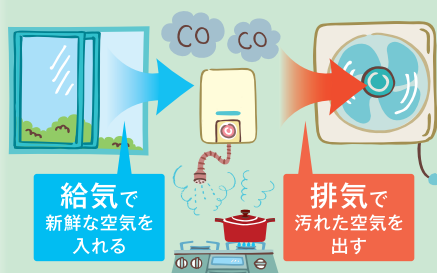
3つのアクションで、安全・安心LPガス!!

CO(一酸化炭素)中毒事故・ガス漏れ事故を防ぐのは、日頃のちょっとした注意と行動です。

サッと換気

ガス器具を使う時は、必ず「換気」

ガス器具を使う時、絶対に必要なのが換気です。これを怠ると空気(酸素)不足による不完全燃焼が発生。有毒なCOは「無色・無臭」でもあるので、気づかないうちに中毒を起してしまいます。換気には「給気」も必要。換気扇を使っている時も時々「サッ」と窓を開け、新鮮な空気を取り込みましょう。



カチッと確認

点火したら、青い炎を目で見て「確認」

ガス器具に「カチッ」と点火した時は、青い炎が出ていることを目で見て確認。点火ミスをした時に繰り返し操作すると、器具内にガスが溜まり、事故になる場合もあります。ガス器具に異常があれば、すぐにLPガス販売店かガス器具メーカーに点検を依頼しましょう。

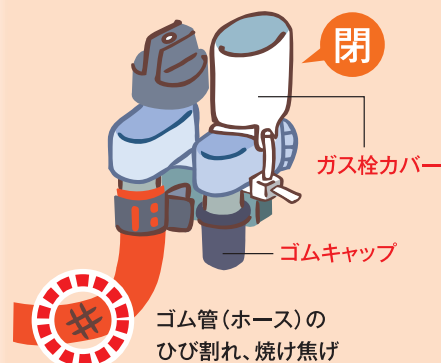
※乾電池が切れていると点火できません。



キュッと防止

誤開放は、「ガス栓カバー」と「ゴムキャップ」で「防止」

ゴムホースはガスの元栓の赤い線まで確実に差し、ホースバンドで止めます。使っていないガスの元栓は「閉」にし、ガス栓カバーとゴムキャップを。ひび割れ、焼け焦げのあるゴムホースはすぐ交換。「キュッ」と止めるのを忘れずに。



地震など、災害後にガスを再開する時、まずは、安全確認

安全確認 1 ガス漏れやガス臭かったら、すぐ連絡。

ガスを使わず、ガスの元栓、ガスボンベのバルブ、ガスメーターの所に付いているガス栓を閉め、「LPガス販売店」か「緊急時連絡先」へすぐに連絡してください。また換気扇や電気のスイッチには絶対に手を触れないでください。

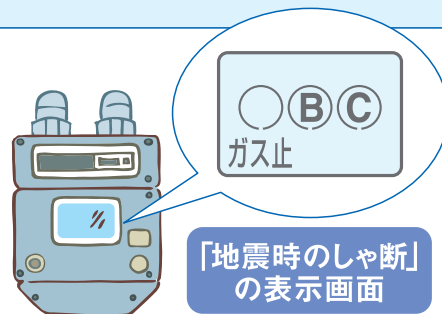
安全確認 2 ガス器具が破損していたら、修理依頼。

破損しているガス器具は使用せず、すぐにLPガス販売店か、ガス器具メーカーに修理を依頼してください。

ガスメーター復帰操作の注意

- ガスがしゃ断されている時は、ガスメーターの表示を確認してから復帰操作してください。
- 復帰操作をしても復帰しない時は、操作を止めて「LPガス販売店」に点検を依頼してください。

※ガスメーターの復帰方法など、詳しくはLPガス販売店か、LPガス安全委員会ホームページ (<http://www.lpg.or.jp/>) でご確認ください。



「特定保守製品」を購入したら、長期使用製品安全点検制度を活用

申し込みは、簡単3ステップ。

①ガス器具購入店で説明を受ける

購入店で長期使用製品安全点検制度の説明を受けます。

②所有者登録をする

所有者票を購入店で渡すかガス器具メーカーに郵送します。

③定期点検を受ける

メーカーから通知が来たら点検(有料)を依頼します。
※点検を受けていただくことが法律で求められています。

今お使いのガス器具も点検が受けられます。

平成21年4月以前に製造された製品は「長期使用製品安全点検制度」の対象外ですが、**ご依頼により**制度に準じた点検が受けられます。点検・調査、修理・改善(有料)については、ガス器具メーカーにご相談ください。



LPガス販売店

LPガス
人と地球にスマイルを